

# 陸上自衛隊西部方面隊と九州地方知事会との相互協力に関する協定について

九州地方知事会 政策連合(防災対策の連携)

## 目的

大規模災害が発生した際、自衛隊と九州地方知事会が相互に協力して、迅速かつ円滑に被災地応援を行うことを目的。

### 自衛隊とブロック知事会による全国初の協定

#### ※陸上自衛隊西部方面隊の役割

熊本地震の際は、西部方面総監が陸上・海上・航空による統合任務部隊の指揮官に就任するなど、自衛隊運用の統括的役割を担っている。

## 経緯

28年4月 熊本地震  
※熊本県・大分県で大きな被害。カウンターパート方式による九州地方知事会の応援活動の実施。

29年5月 第149回九州地方知事会議  
※熊本地震の応援活動を検証する中で、沖縄県など陸続きでない地域への応援方法が課題となる。

29年12月 自衛隊に対して協議開始の申入れ。

## 協定の概要 → 「3つの協力」による被災地応援活動の強化

### (1) 九州地方知事会が実施する被災地応援に関する輸送協力(応援力の強化)

災害時に、九州地方知事会が行う人的・物的応援に自衛隊が輸送協力。特に、航空機による輸送手段の確保により、陸続きでない沖縄県や、孤立地域等に対する応援力の強化。



航空自衛隊機より引用

沖縄県内空港

九州内空港

(効果)民間輸送機関が動けない発災直後から、自衛隊機を利用した職員派遣や物資輸送が可能に

### (2) 自衛隊の災害派遣部隊受入れに関する協力(受援力の強化)

災害時に、被災県の周辺県においても、指定する港湾等で自衛隊の受入れに協力。九州・山口全体で受援力の強化。

熊本地震の際の受入れ(大分港)



(取組例)熊本地震の際、応援物資を積載した自衛隊の輸送艦を大分港(大在埠頭)にて受入れ。

### (3) 自衛隊との連携強化を図る取組への協力

平時から、防災訓練や研究会を通じて連携を強化。

(取組例)美ら島レスキュー2017



## 今後の取組

※協定に基づき、沖縄県防災訓練「美ら島レスキュー2018」に自衛隊機を利用して参加予定。

開催日：7/18(水)～7/19(木)

場所：沖縄県庁及び陸上自衛隊沖縄駐屯地